

六甲

ウィメンズ
ハウス

つくります!!

困難を抱える女性たちが“ここしか住めない”ではなくて
“ここに住みたい”と思える住まいづくりを!

公益財団法人 神戸学生青年センター

認定NPO法人女性と子ども支援センター ウィメンズネット・こうべ

社会課題

安心・安全な住まいの取得が困難な女性たち

- 1.所持金も少なく、保証人もなく、住居取得が困難である困難を抱える女性やシングルマザーとその子どもたち
- 2.コロナの影響で、親が失業したり、経済的困難を抱える学生・留学生
- 3.親の虐待などで家に居場所がなかったり、養護施設をでたけれど家を借りるための保証人がなかったり、経済的に困窮している若年女性

女性たちへ住まいの果たす役割

- このような困難を抱える女性の支援の活動においては、清潔で安全で健康で文化的な住まいを探ることが重要となる。安心・安全に暮らせる適正な住まいが確保されて初めて、自立した新しい人生をスタートする意欲が得られるからである。
- 特に周囲から孤立しがちなシングルマザーにとっては、適正な住まいと物資の支援があり、いつでも相談できる支援員が常駐しているなど、安心して暮らせる環境に身を置くことが自立支援や、子どもの虐待防止や健全育成にも繋がる。
- 本事業では、女性たちに就業の機会の提供や、食糧支援、生活再建に向けて、日頃からの連携機関に繋ぐことも可能である。

共同提案団体の活動内容

- 公益財団法人 神戸学生青年センター
留学生の支援、留学生奨学金事業、日本語ボランティア教室運営
- 認定NPO法人女性と子ども支援センターウィメンズネット・こうべ
DV・性暴力被害女性やシングルマザーの支援、シングルマザーやDV被害女性の居住支援、生活再建支援、女性と子どもの居場所の運営

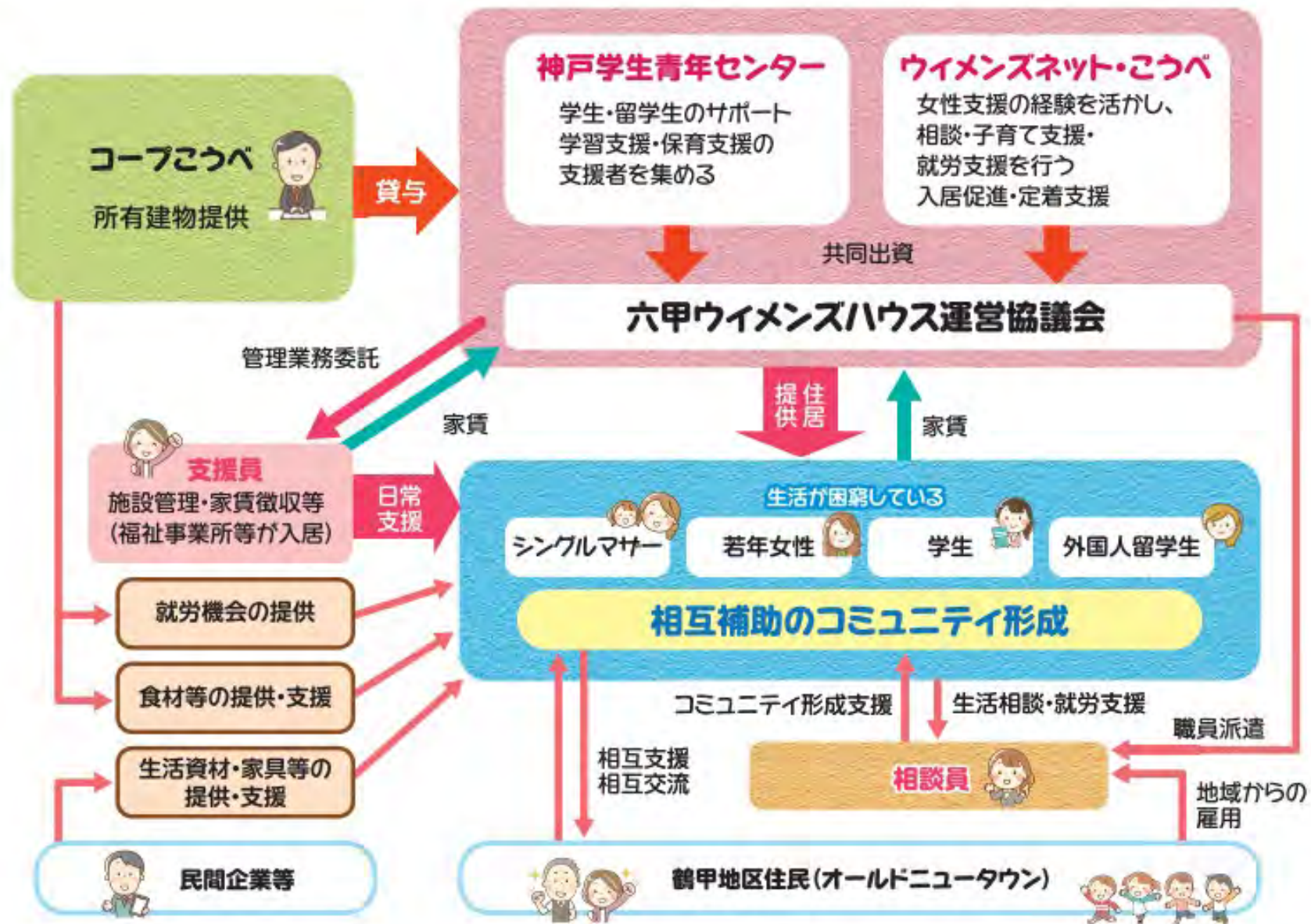
物件 コープこうべの旧女子寮

「事業育成型」補助にて
建物調査・需要調査等を実施

- 事業予備調査
2022年5月終了
- 事業実施申請
2022年7月末
決定10月
建築業者との契約
2022年度中
- 事業完成
2023年度中の予定



事業の実施体制等



六甲ウィメンズハウスで何ができるか

- 地域で孤立しがちなシングルマザーの子どもたちにとって、学生らと共に暮らすことで、お互いに学びあうことが出来る。信頼できる大人と出会うことは、子どもたちの心身の健やかな成長に大きく影響する。特に留学生との出会いによって、経験の少ないこどもたちの世界観が広がることの意義は大きい。
- さまざまな困難を抱えるシングルマザーや若年女性には、DVや虐待等に理解のある支援者が常駐している環境で生活し、心理的なケアや就労支援等のサポートを受けることによって自立が促進される。
- 多様な世代や属性を持つ女性たちが共に暮らすことで、サポートグループや手仕事のグループや読書会等、さまざまな試みに参加することができる。そして、そのようなつながりの中で、孤立や不安を軽減し、安心や他者への信頼を育て、女性たちが自信を回復し未来への希望を持てるように支援する。
- 母親の心の安定は子どもの安心にも繋がる。

事業の波及効果—より良い社会や仕組み作りに向けて 大きな社会的インパクトが期待できる

● 困難を抱える女性の多世代居住のモデルの提示

困難を抱える、多様な環境の多様な世代の女性が、居住空間をシェアし、自立的な生活環境を取り戻すための互助居住モデルが提示できる。

● 民間事業者によるストック活用・リソース活用の新たな選択肢の提供

住宅確保要配慮者への住宅提供は、全国各地で困難を抱えている。空きビル・旧社員寮などの、民間事業者が現在は死蔵しているリソース、とりわけ建物ストックのリノベーションの新たな選択肢となり、市営住宅や民間の社員寮等のリノベーションのモデルとなりえる。また、企業におけるCSRの取り組みの選択肢・可能性を広げることにもつながる。本事業が困難を抱える女性や子どもへの支援に繋がるという実績を示し、これを広報することで、社会貢献に繋がる建物の提供や改修・リノベーションがすすむ、モデル事業にしたいと考えている。

● 支援の妥当性、必要性—NPOと企業が連携し社会的貢献の建物をつくる、しかもジェンダーの視点からの取り組みは日本ではまだまだ少ない。

困難を抱える女性、特にシングルマザーへの優良な住まいの提供は、女性の社会的自立の促進のみならず、子どもの心身の健やかな成長に大きく影響するため、こうした支援事業には公益性があると考えているが、他の補助事業や自治体の支援にこうした困難を抱える女性を対象とした事業への補助メニューは非常に少ない。このような取り組みが全国各地に広がることで、国の居住福祉政策の充実を図りたい。

● 高齢化が進むオールドニュータウンの再生への寄与

実現しようとしている建物

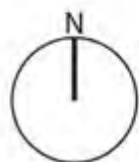
生活環境の変化や、支払える家賃に合わせて
多様な状況の女性が入居可能な
約19㎡～57㎡の7つの住戸バリエーション

- 計35戸（約25㎡～57㎡）の一般住戸
— 母子・単身者・留学生等
- 計5戸（約19㎡）の単身用シェアハウス
— 風呂を共同とすることで家賃を下げた住宅
- ランドリールーム・シャワー室・共有浴室
— 全戸共同のランドリー・シャワー2・浴室1
- シェア倉庫
— 各戸の収納スペースを保管する共用倉庫

実現しようとしている建物

単にケア付きの住宅を提供するだけではなく、入居者同士・地域との交流等を通じて、自立のための意欲や自信を培えるような施設を計画しています

- **シェアキッチン（コミュニティカフェ）**
— カフェ運営も可能な共同キッチン
- **キッズスペース（兼地域交流スペース）**
— 子どもたちを安心して遊ばせられる
- **学習室（セミナースペース・自習室）**
— IT学習や資格取得等のステップアップを目指す女性に講師や保育をつけて学習支援を行う。自習もできる。
- **シェアオフィス（事業用スペース）**
— 事務所が持てる。女性の起業に繋がる。



「新しいことを始めたい! (中長期的)」
 地域住民のためのスペース
 ex) オフィス、販売店舗、作業スペース

「スキルアップのために子どもから
 離れた静かな場所で勉強したい!」
 「大きい机で勉強できる環境が欲しい!」
 シングルマザーや学生向けの学習スペース

「大きいキッチンで料理をしたい!」
 「留学生に異国の手料理を教わりたい!」
 「カフェを試してみたい!」
 入居者同士、地域住民との交流の場

管理人が事務所から見守り
 子ども同士の交流、勉強の場
 一時保育的要素あり

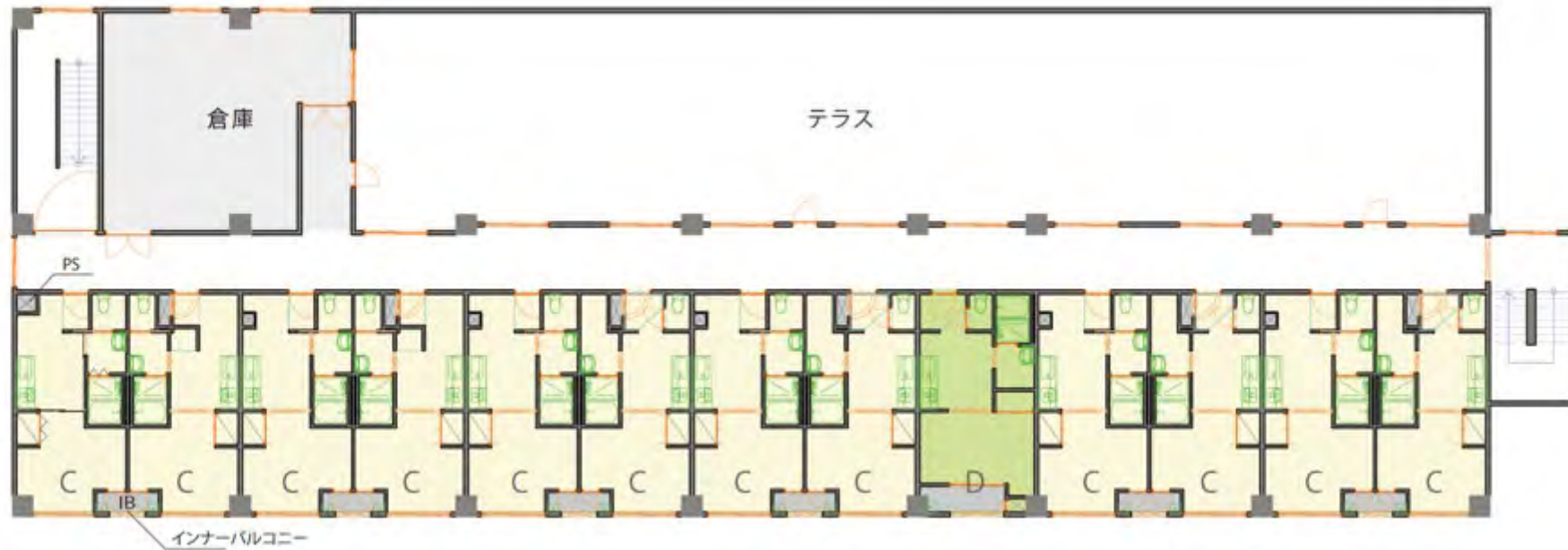


シェアキッチン兼コミュニティカフェのイメージ

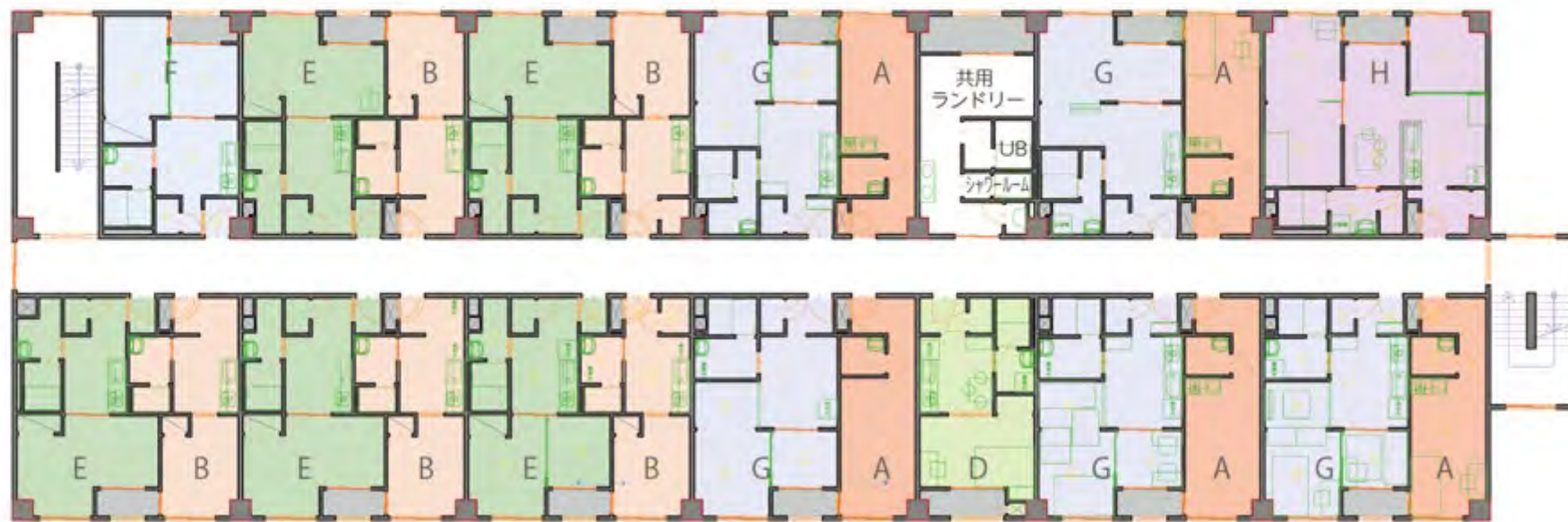


キッズスペース兼地域交流スペースのイメージ

4F PLAN S=1/300



3F PLAN S=1/300





住戸内部のイメージ

今後の課題① 事業予算

工事の事業費は1億9千8百万円（消費税込）を予定。
このうち1億2千万円を国庫補助でまかさないです。

⇒2団体で不足の7800万円を調達します！

さらに、工事費用に加えて・・・

**内装費用、家電・家具などの費用、
その後の運営費も必要です！**

今後の課題② 家賃の低廉化

できるだけ、安い家賃設定をしたいと考えています。
建物所有者の全面的な協力により、市場家賃よりも安く
はできる予定ですが、事業採算を考えるとさらなる低廉化
は困難です。

以前は行っていたが、現在は中止されている
セーフティーネット住宅の家賃補助の制度を、
神戸市さんに復活していただけるよう、お願いをしています。

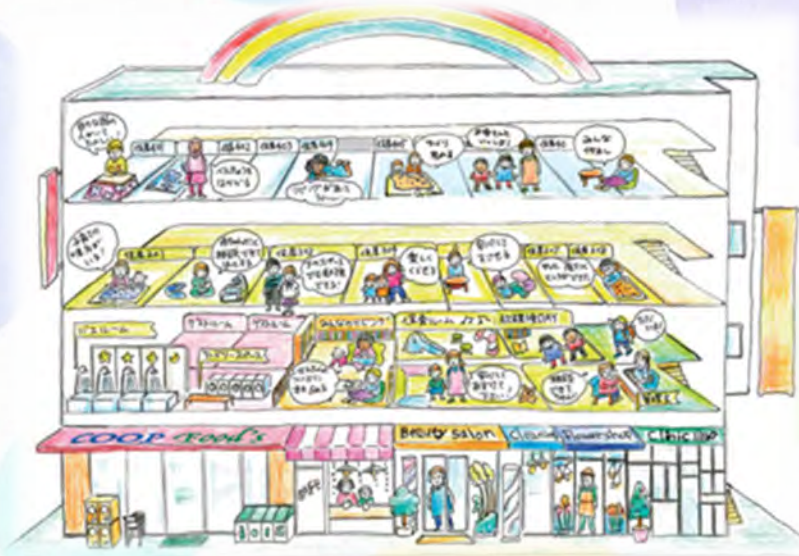
今後の課題③ 自立支援

入居したシングルマザーの方々に、働く場所を用意し、自立した生活ができるような「ステップハウス」となることを目指しています。コープこうべさんなどの協力は得られますが、さらに、困難を抱えた女性がいきいきと働ける環境を用意したい。

協力してくださる事業者の皆さんを探し、働ける場所を確保したり、六甲ウィメンズハウスを支えるチャリティショップ等の自主事業の展開（社会復帰の一步になる）も考えています。

より良い社会や仕組み作りに向けて
大きな社会的インパクトが期待できる革新的な事業

六甲ウィメンズハウス



ご支援、よろしくお願ひいたします

ぜひ、友人・知人の方やお知り合いの企業に
六甲ウィメンズハウスの広報をよろしくお願ひします。